

# 介護を楽にする「福祉用具」をご存じですか？

家の中で安全に暮らすために、「モノ」を活用しましょう。

今回は、「福祉用具購入」についてご紹介します。

例えばお風呂で使うイスや、ポータブルトイレなど、うまく使うことで本人の出来ることが増え、家族の介護も楽になることがあります。介護保険で1割（～3割）で購入できるものがあります。

＊レンタルできるもの、消耗品は対象となりません。

＊利用には申請が必要です。その他、いくつかの条件があります。

詳しくは、担当のケアマネジャーにご相談ください。

ここでは、よく使われているものをご紹介します。

## ①ポータブルトイレ

木製のもの、プラスチック製のもの、暖房便座、消臭機能、ウオッシュレット機能付きのものなどがあります。部屋の雰囲気や手入れの仕方などを考えて選びましょう。

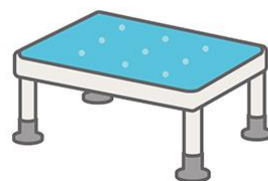
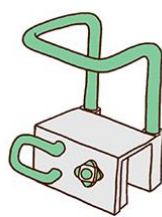


## ②シャワーチェア

浴室の洗い場でも滑りにくく、安定したイスです。立ち座りが楽になります。介助も少し楽になります。高さ調節ができ、ひじ掛けや背もたれの付いたもの、折りたたむことができるものもあります。洗い場の広さや介助の必要度を考えて選びましょう。

## ③浴槽台

浴槽の中に沈めて使うイスです。湯船から出る時の立ち上がりが楽にできるようになります。



その他、浴槽手すりや補高便座なども、介護保険を使って購入できます。ケアマネジャーや福祉用具業者（専門相談員）も商品の選定を一緒に考えてくれます。

介護保険での補助の対象とはなりませんが、滑り止めマットやベッド用防水シート、介護用の食器なども、安全で快適な暮らしに役立ちます。

この機会に今いちど、暮らしや介助を楽にするための「モノ」の活用について考えてみましょう。